

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議（第21回）				
開催日時	平成23年5月26日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者：</p> <p>（委員）神谷・桑原・小林・小山・島崎・土田・當間・森・吉井・吉満 敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係主任・野沢、生涯学習係主事 野崎</p> <p>欠席者：（委員）なし</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<p>1．あいさつ</p> <p>2．報告事項</p> <p>（1）東京都市町村社会教育委員連絡協議会拡大役員会について</p> <p>（2）児童育成計画推進部会について</p> <p>（3）青少年問題協議会について</p> <p>3．協議事項</p> <p>（1）平成23年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について</p> <p>（2）今期研究テーマ提言書の概要について</p> <p>4．その他</p> <p>（1）第23回会議日程について</p> <p>5．閉会</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係</p> <p>担当者名 神山・野沢・野崎</p> <p>電話番号 042-393-5111（内線3513）</p> <p>ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1．あいさつ</p> <p>議長</p> <p>今期定例会も残すところあと3回となった。今期研究テーマ提言書の完成ならびに東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会概要の最終決定に向けての追い込みとなるので、みなさんにご協力いただきたい。</p>					

2. 報告事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会拡大役員会について 議長

今年度会長市の多摩市で開催され、会長をはじめ役員、各ブロック幹事、事務局、東京都教育庁生涯学習課計画係が出席した。まず、全国社会教育委員連合総会について報告があり、前年度の事業報告、今年度の事業計画について説明があった。今年度の関東甲信越静社会教育研究大会（茨城大会）は、震災の影響で、当初予定されていた水戸市から比較的被害の少なかったつくば市に会場を変更し、11月に開催される運びとなった。3名まで市から交通費が支給されるので、関心のある方はご検討いただきたい。また、全国大会は9月20日（火）から22日（木）まで京都府で開催される予定である。詳細は後日通知されるが、原則として、自費参加となるので、予めご了承いただきたい。

また、23年度の予算について協議があり、前年度繰越金が会費収入（負担金）を上回っている事態を受け、今年度は予算の執行率を上げて、翌年度に繰越金が発生しないようにするとともに、翌年度繰越金の減額に向けて、予備費相当額に関する用途等について引き続き協議を行い、平成24年度予算への反映を目指すこととなった。

(2) 児童育成計画推進部会について 議長

5月23日（月）に第1回会議が開催され、各委員に委嘱状が交付された。市内の保育園、児童館の現状について協議が行われた。

(3) 青少年問題協議会について A委員

平成23年11月19日（土）に青少年健全育成大会が開催される予定。その中で、青少年善行表彰式を行うので、該当者がいたら推薦をお願いしたい。「家庭の日」については、名称の変更について提案があったが、伝統を守りたいという意見も多く、結論が出されずに次回会議へ持ち越しとなった。その他、道路での飛び出しなど命にかかわるような子どもの行為に対しては、大人が本気で叱ることが大事だといった意見や、定年世代を中心に地域パトロール隊を組織したらどうかという提案があった。

3. 協議事項

(1) 平成23年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について 議長

前回会議で皆さんに研修会の概要について協議していただいたところ、国立ハンセン病資料館を舞台にして、国立多磨全生園と地域学校との関わりについて事例発表を行い、当園入所者自治会長に講演を行っていただくことで概要がまとまった。後日、事務局が学校と資料館に出向き、研修概要を説明したところ、学校の児童と自治会長の都合を考慮し、10月21日（金）に開催する方向で会場等を手配した。昨年度、西東京市で研修会が開催されたときも平日であったが、多くの委員が出席していたので、PR方法を工夫すれば、平日開催でも問題はないと思う。6月30日までに

研修計画書を多摩市に提出する必要があるので、今回会議で内容についてもう少し詰めていきたいと思う。

B委員

せっかくブロック内各市の委員に全生園に足を運んでいただくからには園内を見学していただきたいが、敷地が広いので、ガイドがないと見学が難しいと思う。全生園との関わり合いを強調するならば、総合学習の一環として児童にガイドを務めてもらったほうがよいと思う。

C委員

社会教育の観点からみると、施設概要よりも学校と全生園とのかかわりを前面に出すべきである。したがって、児童に全生園を案内してもらうのは意義のあることだと思う。

D委員

児童がガイドを務めることにより、総合学習の事例発表にもなると思う。研修参加者が実際に園内を見学してみて疑問が生じたら、後の講演会で知識をフォローできるので、流れとしてはよいのではないかな。

E委員

一般的な見学コースに組み入れられているVTR上映は、受動的なものなので、研修会には採り入れず、時間を全生園見学に割り当てたほうが、内容が充実すると思う。

F委員

「人権の森宣言」に代表されるように、市として全生園を舞台にした人権教育に力を入れている理由も研修会の中に補足したほうがよいのではないかな。

G委員

今回の研修会は、人権教育よりは社会教育の観点で実施するものなので、人権教育に関することについては議長のあいさつや資料で補足すればよいと思う。

議長

皆さんの意見を踏まえ、研修会当日のプログラムを再び組み直し、次回会議で改めて協議し、決定したものを研修計画書に掲載し、多摩市に提出する。資料館への本申請ならびに学校との正式な打合せは、次回会議以降に行うものとする。

(2) 今期研究テーマ提言書の概要について

議長

4月定例会において出された皆さんの意見を基に前回資料の内容を改訂し、皆さんに事前に内容を確認していただいたところである。文言について校正を行うのは、今回が最後となるので、気づいた点等があれば指摘していただきたい。

H委員

人材育成の項目で各種団体役員の交代について触れているが、やや押しつけがましい印象を受けないだろうか。団体によって質や内容が異なるので、一概に言い切れない事柄もあると思う。

A委員

提言なので、助言や忠告を盛り込むのは当然だと思う。団体活動活性化のための手掛かりとして受け止めてもらえればよいのではないかな。

議長

今回も、皆さまから若干の項目についてご指摘をいただいたので、資料を参照するなどして修正する。次回会議では、体裁等も含め提言書の最終校正を行う。

4．その他

(1) 第23回会議日程について

・第21回会議 平成23年7月15日(金)午後6時30分～
於 教育委員会室

全委員の承認により上記日程で開催することが決定。当日、教育長に提言予定。

5．閉会